

体験版

でた問70%

110~114回
試験問題 **看護師国家試験**
高正答率過去問題集

70

このPDFについて

★『でた問70%』は、看護師国試受験生約4万人のデータを基に、直近5年の試験から正答率70%以上の問題を集めた問題集です。

★本体験版は、第110~114回試験を収録した「2025年度版」の抜粋です。

正答率70%以上の過去問が解ければ合格!!

第114回受験生40,792名が解答速報・自己採点会に参加



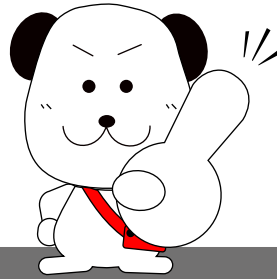
東京アカデミー | 編

東京アカデミー七賢出版

112回AM3 : 98.4% □□□→□□□

39 喫煙指数 (Brinkman <ブリンクマン> 指数) を算出するために、喫煙年数のほかに必要なのはどれか。

1. 喫煙開始年齢
2. 受動喫煙年数
3. 家庭内の喫煙者数
4. 1日の平均喫煙本数




周辺事項を色ペンで書き込むなどして、ご自分のノートを作ろう！

消化・栄養・代謝

114回AM12 : 84.3% □□□→□□□

40 成人の食道の構造で正しいのはどれか。

1. 胃の幽門につながる。
2. 上1/3が平滑筋である。
3. 生理的狭窄部位がある。
4. 長さは約45cmである。

 問題の右上には本試験の問題番号、正答率、チェック欄を掲載しています。チェック欄を使用して、苦手な分野や問題を把握することができます。

【見方】

114回AM12	: 84.3%	□□□	→	□□□
第114回 午前問題No.12	正答率 84.3%	演習時の チェック欄 (3回分)		採点後の チェック欄 (3回分)

41 膵管と合流して大十二指腸乳頭 (Vater <ファータ

1. 肝管
2. 総肝管
3. 総胆管
4. 胆嚢管

114回PM12 : 98.3% □□□→□□□

42 胆汁の作用はどれか。

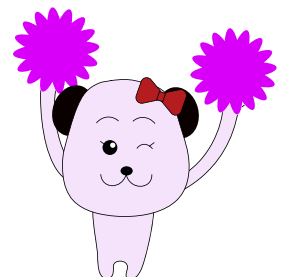
1. 脂肪の乳化
2. 蛋白質の分解
3. 胃酸分泌の促進
4. 炭水化物の分解

頻出の内容が出たら必ず正解できるよう何度も復習しよう！

114回PM12 : 97.7% □□□→□□□

43 有害物質を無毒化し排泄する臓器はどれか。


1. 胃
2. 肝臓
3. 膵臓
4. 大腸



111回PM48 : 76.0% □□□→□□□

45 下腿の介達牽引を受けている患者が足背のしびれを訴えている。
看護師が確認すべき項目で優先度が高いのはどれか。

1. 下肢の肢位
2. 牽引の方向
3. 重錘の重さ
4. 弾性包帯のずれ

 疾患名や手術法にマーカーを引いて目立つようにしておこう！後で見直すときに役立ちます。

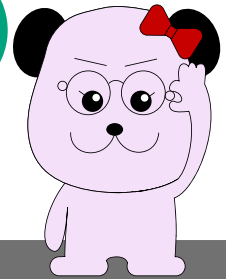
110回PM47 : 89.0% □□□→□□□

46 Aさんは右側の人工股関節全置換術（後方アプローチ）を受けた。

Aさんへの脱臼予防の生活指導で適切なものはどれか。

1. 「靴はしゃがんで履いてください」
2. 「右側に身体をねじらないでください」
3. 「椅子に座るときは足を組んでください」
4. 「浴室の椅子は膝の高さより低いものを使ってください」

どこが誤っているか
正せるようになると、
どんどん知識が深まります。

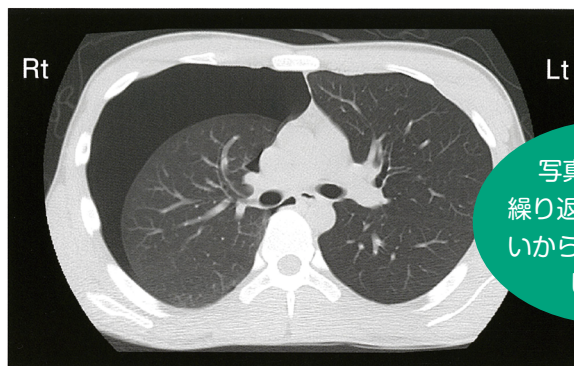


呼吸

114回AM51 : 77.2% □□□→□□□

47 Aさん（27歳、男性）は、突然の胸痛と呼吸困難があり、救急外来を受診した。意識は清明。身長179cm、体重63kg、胸郭は扁平である。20歳から1日50本の喫煙をしている。バイタルサインは、体温36.1℃、呼吸数22/分、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）96%（room air）である。

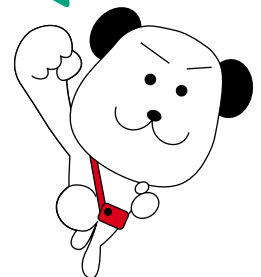
胸部CTを示す。



写真の問題は、
繰り返し出されやすいからしっかり学習しよう！

Aさんの所見から考えられるのはどれか。

1. 酸素吸入が必要である。
2. 抗菌薬投与が必要である。
3. 右肺野の呼吸音は減弱している。
4. 左胸腔内は液体成分で占められている。



消化・栄養・代謝

114回 AM12 : 84.3% □□□→□□□

40 成人の食道の構造で正しいのはどれか。

1. 胃の幽門につながる。
2. 上1/3が平滑筋である。
3. 生理的狭窄部位がある。
4. 長さは約45cmである。



よく出てくる数字については、必ず押さえておこう！マーカーや色ペンで囲もう！

解説 オープンセサミ①130, ②155

1. × 胃の噴門につながる。
2. × 上1/3は横紋筋で次第に平滑筋が多くなり、下2/3は平滑筋である。
3. ○ 食道起始部、気管分岐部、横隔膜貫通部の3か所に生理的狭窄部位がある。
4. × 長さは約25cmである。

正答 3

113回 PM12 : 86.8% □□□→□□□

41 膵管と合流して大十二指腸乳頭 (Vater〈ファーター〉乳頭) に開口するのはどれか。

1. 肝管
2. 総肝管
3. 総胆管
4. 胆嚢管



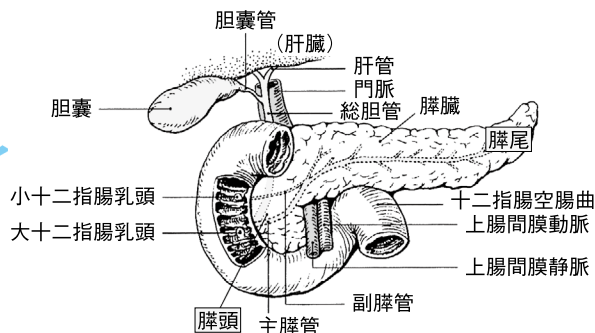
東京アカデミー編集の参考書「オープンセサミシリーズ(全5冊)」の関連ページを掲載しています。学習する際、併せて使えばより理解が進みます。

(※「オープンセサミシリーズ」は書店販売を行っていません。ご購入を希望される場合は、お近くの東京アカデミー校舎までお問い合わせください。)

解説 オープンセサミ①132~133, ②158

1. × 胆汁は肝臓で生成され、左右の肝管
2. × 左右の肝管は肝門で合流し、総肝管
3. ○ 総胆管が膵管と合流し、大十二指腸乳頭 (Vater〈ファーター〉乳頭) に開口する。
4. × 総肝管は胆嚢から出る胆嚢管と合流して総胆管となる。

胆汁と膵液の通路と十二指腸



文字情報だけでなく、より理解しやすいように、図表やグラフ、イラストを用いて解説しています。ビジュアル的にイメージをつかむことで、円滑な知識の定着を図ることができます。

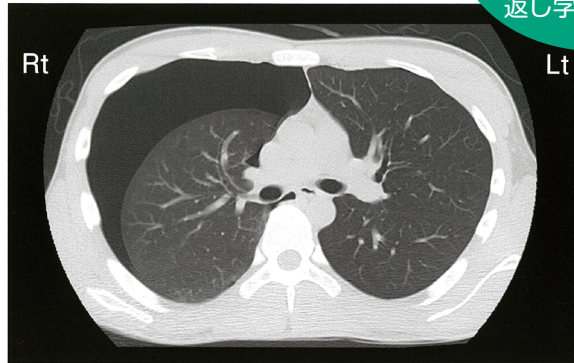
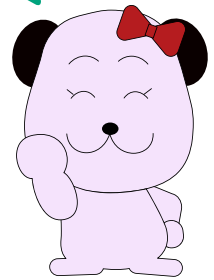
正答 3

呼吸

114回 AM51 : 77.2% □□□→□□□

47 Aさん(27歳、男性)は、突然の胸痛と呼吸困難があり、救急外来を受診した。意識は清明。身長179cm、体重63kg、胸郭は扁平である。20歳から1日50本の喫煙をしている。バイタルサインは、体温36.1℃、呼吸数28回/分、静脈的動脈血酸素飽和度(SpO₂)96%(room air)である。
胸部CTを示す。

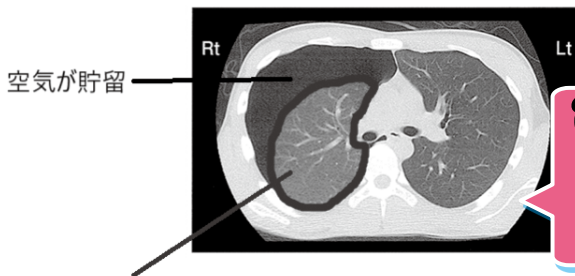
合格へのショート
カット勉強法！
理解できるまで繰り返し学習しよう！




Aさんの所見から考えられるのはどれか。

1. 酸素吸入が必要である。
2. 抗菌薬投与が必要である。
3. 右肺野の呼吸音は減弱している。
4. 左胸腔内は液体成分で占められている。

解説 オープンセサミ②83～84



 この問題集を何度も解くことで、自信をもって本試験に臨むことができます。同じような問題が出てきても落ち着いて解くことができます。

右肺が虚脱している

CT画像所見、突然の胸痛と呼吸困難、若年・喫煙者等の情報により特発性自然気胸が考えられる。気胸では、肺が破れて胸腔内に空気が貯留し、胸腔内が陽圧となることにより肺が圧迫され肺虚脱の状態となる。

1. × SpO₂は96%であるため、酸素吸入が必要な状態とはいえない。
2. × 抗菌薬は細菌感染に対する治療薬である。体温36.1℃であることから、現時点で

抗菌薬投与が必要とはいえない。

3. ○ CT画像より右肺の虚脱が確認できる。右肺に十分に空気が入らない状態となっているため右肺野の呼吸音は減弱し、呼吸音に左右差がみられる。
4. × 右胸腔内に空気が貯留し陽圧となるため、肺が押しつぶされ肺虚脱となっている。

正答 3

112回PM47：93.8% □□□→□□□

48 成人の気管支喘息に対する副腎皮質ステロイド薬の吸入で正しいのはどれか。

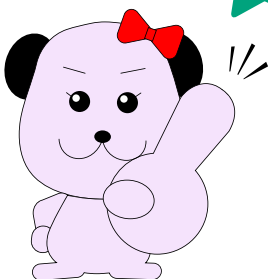
1. bronchial asthma 糖尿病の患者への投与は禁忌である。
2. diabetes mellitus 副作用(有害事象)に不整脈がある。
3. 重積発作の際に使用する。
4. 吸入後は含嗽を促す。

解説 オープンセサミ②79～82

1. × 副腎皮質ステロイド薬の主な成分は糖質コルチコイド(コルチゾール等)である。糖質コルチコイドは、肝臓における糖新生を促進し、インスリンに対する感受性を低下させるインスリン拮抗ホルモンでもある。糖尿病の患者への投与は、禁忌ではないが血糖値を管理しながら慎重に行われる。
2. × 副腎皮質ステロイド薬の主な副作用(有害事象)には、高血糖・高血圧・体重増加・易感染・骨粗鬆症などがある。吸入薬の場合は、長期使用しても副作用が少ない。声がれ・口腔内カンジダなどがみられる場合があるが、不整脈はみられない。
3. × 副腎皮質ステロイド吸入薬は気管支喘息の初期治療から使用される。症状に合わせて低用量から中・高用量へと増やしていく。
4. ○ 薬が口腔内に残ると口腔粘膜の免疫を抑制し、口腔内感染(真菌の増殖によるカンジダ)が生じる可能性があるため、吸入後は含嗽を促す必要がある。

正答 4

頻出問題が並んでいるので、どこから勉強したらよいかわからない人にもピッタリ!



国試直前期もこの1冊があれば不安も解消!

